

基本情報

時間割コード／Course Code	306520
開講区分(開講学期)／Semester	秋～冬学期
曜日・時間／Day and Period	水4
開講科目名／Course Name (Japanese)	日本語教育学特別研究B
教室／Room	E 1 0 5
開講科目名(英)／Course Name	***
定員／Capacity	0
ナンバリング／Course Numbering Code	30JALC7BY01
必修・選択／Required/Optional	
単位数／Credits	2.0
年次／Student Year	1,2,3年
分野／Field	
担当教員／Instructor	真嶋 潤子

授業担当教員一覧

詳細情報

講義題目／Course Name	日本語教育学の学習・教育理論の諸問題
開講言語／Language of the Course	日本語
授業形態／Type of Class	演習科目
授業の目的と概要／Course Objective	日本語教育学の高度な研究を行い、優れた論文作成を目指す。 日本語教育学の「第二言語習得研究」「年少者教育研究」「バイリンガル教育研究」「言語政策研究」を研究分野として実証研究をする受講生を対象に、（１）研究方法の精緻化のための解説と議論、（２）各自の研究発表と建設的批評を行い、優れた論文作成を目指す。
学習目標／Learning Goals	日本語教育学の最新の研究動向を把握することができる。 自分の研究テーマのための研究方法の精緻化ができる。 日本語教育学の論文発表ができる。
履修条件・受講条件／Requirement / Prerequisite	特になし。
授業計画／Class Plan	第１回　オリエンテーション 第２回　最新の研究動向、最近の博論紹介 第３回　学生の発表と討議１ 第４回　学生の発表と討議２ 第５回　研究方法についての講義 第６回　学生の発表と討議３ 第７回　学生の発表と討議４ 第８回　学生の発表と討議５ 第９回　学生の発表と討議６ 第１０回　学生の発表と討議７ 第１１回　学生の発表と討議８ 第１２回　学生の発表と討議９ 第１３回　学生の発表と討議１０ 第１４回　ゲストスピーカー 第１５回　総括
授業外における学習／Independent Study Outside of Class	指定参考書を読んでくること。 自分の研究方法を精緻化すること。 自分の論文を書き進めること。 自分のテーマに関連する博論を読むこと。
教科書・教材／Textbooks	特になし。
参考文献／Reference	・大谷尚（2019）『質的研究の考え方　研究方法論からSCAT　による分析まで』名古屋大学出版会 ・佐藤郁哉（2008）『質的データ分析法　－原理・方法・実践』新曜社 ・竹内理ほか著『外国語教育研究ハンドブック－研究手法のより良い理解のために』松柏社 ・本田弘之他編著　（2019）『改訂版　日本語教育学の歩き方』大阪大学出版会 ・John W. Creswell　著　操華子他訳（2007）『研究デザイン　－質的・量的・そしてミックス法』日本看護協会出版会・John W. Creswell (2009) "Research Design: Qualitative, Quantitative, and Mixed Methods Approaches, 3rd Edition." Sage Publications. その他の文献は授業で指示する。
成績評価／Grading Policy	出席＋発表＋レポートにより総合的に評価する。
コメント／Other Remarks	特になし。
特記事項／Special Note	
オフィスアワー／Office Hour	火曜５限（要予約）。それ以外は相談に応じます。

授業担当教員

教員氏名／Instructor Name
データがありません

学生への注意書き